

商品番号	メーターフルセット：05-05-0815（キットにスーパーマルチDNメーターキット：05-05-0811を含む） M2ステーセットのみ：09-01-0958		
適応	12Vモンキー Z50J-2000001～ AB27-1000001～1899999 (モンキーFへの利用に関する参考情報を添付)		メーター本体の取扱説明書 も合わせてご覧下さい

この度は、TAKEGAWA 製品をお買上げ頂き有難うございます。
ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいます様お願い申し上げます。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

- 取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- 本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。
- この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- 他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- 商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- 性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させていただきますが、工賃その他費用は対象となりません。
- この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンやマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）
○製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

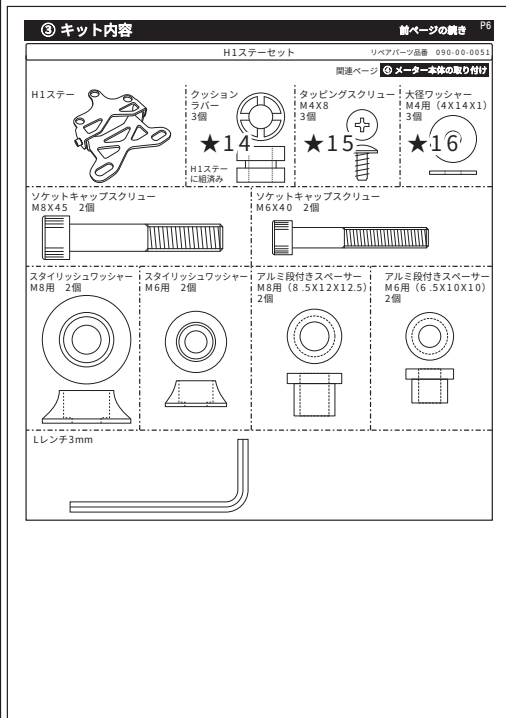
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わないで下さい。
(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまますべて交換すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- 気化したガソリンの滞留は危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

メーター本体取扱説明書の5ページ

③ キット内容 (M2ステー)

前ページの続き

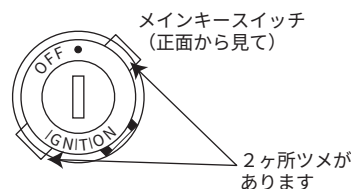
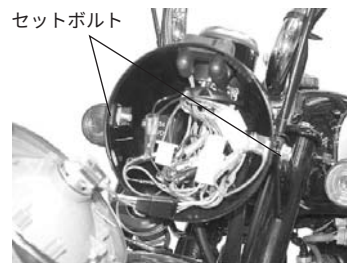


メーター本体取扱説明書の6ページ

④ メーター本体の取り付け (M2ステー)

純正メーターの取り外し

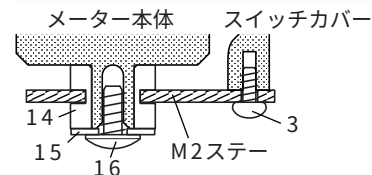
- 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
- 必ずバッテリーのマイナス端子の接続を外してから作業を行ってください。
- ヘッドライトを固定している2本のビスを取り外し、コネクタを外してヘッドライトを取り外します。
- ライトケース両サイドのセットボルトを外して、ライトケースを車両から取り外し、車両側ワイヤーハーネス全てをライトケースから押し出します。セットボルト2本は再使用しますので、紛失しないようにして下さい。
- 外したヘッドライトケースから、進行方向右側の内側に付いているナットを外します。接着剤で固定されている場合は、ケースを割らないように注意しながら、こじって外します。このナットも再使用しますので、紛失しないようにして下さい。
- メインスイッチの配線カブラーを取り外し、車両よりメインスイッチを取り外します。
右図の矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押して、メインスイッチを取り外して下さい。
(簡単には外れない構造になっています。)



スーパーマルチDNメーターステーの取り付け

P2

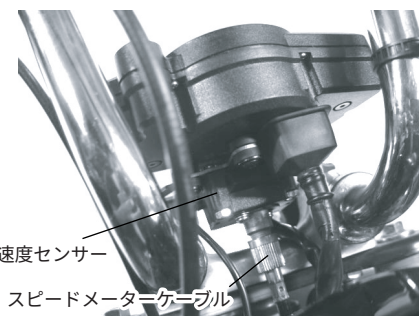
- H1ステーより[14]クッションラバー (小) 3個を取り外し、[1]M2メーターステーに付け替えます。
- [6]速度センサーを、[1]M2メーターステー裏側に右の写真と同じ向きになるよう取り付けます。
・付属のキャップスクリュー4 X 1.6にスプリングワッシャーを通してセンサーに取り付け、六角ナット4MMで固定します。
・スプリングワッシャーは必ずボルト側に取り付け、ナット側には取り付けないで下さい。メーターとナットが干渉する可能性があります。
- [3]タッピングスクリュー2本で[2]コンビネーションスイッチカバーを[1]M2メーターステーに固定します。この時、スイッチカバーの上下方向にご注意下さい。
- メーター背面に[8]メイン配線を接続します。
- [15]タッピングスクリューと[16]ワッシャーM4用を使い、メーターを[1]M2メーターステーに固定します。
- [2]コンビネーションスイッチカバーに、純正メインスイッチを通します



- ハンドルノブ (ハンドルクランプスクリュー) を回し、左右のハンドルを外します。
- ハンドルが差し込まれていた穴の中にあるナットを外し、ノブを完全に車両から取り外します。
- メーターを取り付けた[1]M2メーターステーの長穴部に、ハンドルノブを通します。
- 元通りにハンドルノブとハンドルを組み付けます。
メーター本体がハンドルや車両と干渉していないかを確認し、確実に締め付けます。



- 純正スピードメーターケーブルを[6]速度センサーに接続します。
・スピードメーターケーブル部がハンドルホルダーに干渉する場合は、速度センサーの取り付け向きを間違っています。
- スピードメーターケーブルが[6]速度センサーまで届かない場合は、フロントアクスルシャフトのナットを緩め、スピードメーターギヤユニットの取り付け角度を調整します。
- アクスルシャフトのナットを緩めた場合は、必ず規定トルクで締め付けて下さい。
規定トルク: 34.3~49 N・m (3.5~5.0 kgf・m)



次ページに続く

前ページの続き

- 純正ライトケース内面、進行方向左側にあるメインハーネスと接合しているナット（ナットL）を取り外します。
- 純正ライトケース内面、進行方向右側にあるナット（ナットR）を取り外します。

- 車両側ハーネスをケース後部の穴から全て通します。メインスイッチハーネスと、[8]メイン配線も同様に通します。

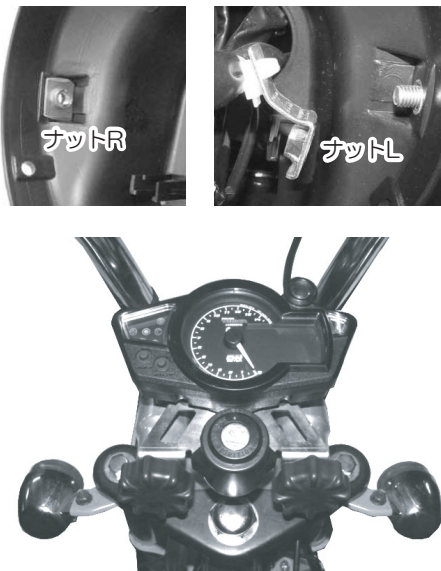
- ナットLのステー部を曲げ加工をしてから、ハーネスを固定して取り付けます。
（ハーネスの固定を省略する場合は、ステーを本来の角度から90度回転させて取り付けすることで、曲げ加工を省略できますが、盗難などに遭遇した場合、メインハーネスを引っっぱり出される恐れ等がありますので、ご注意ください。）

- ナットL、ナットR、セットボルトを流用し、純正ライトケースの取り外しと反対手順で[5]ライトケースを組み付けます。

配線の接続作業を行って下さい。

関連ページ **⑤ 配線接続（M2ステー）**

- ヘッドライトユニットの脱着に伴い、ライトの取り付け角度が変わっていますので、ヘッドライトの光軸調整を行って下さい。



⑤ 配線接続（M2ステー）

次ページに続く

12Vモンキー

本製品はバッテリーのDC12V（直流）を電源とする事を基本にしていますが、メーター本体はAC12V（交流）でも駆動出来、メーター本体の電圧範囲もDC9～20V、AC9～25Vと広く耐久性の高い回路設計となっています。車体側電源に不具合がある状態でもメーターが正常に駆動しますので、以下の症状が無いか確認して下さい。

- バッテリー電圧が作動電圧よりも低い時（または配線ミスによりバッテリーの電力がメーターに伝わっていない時）
- ・キーONでメーターの電源が入りません（エンジン始動で電源が入る）。
- ・キーOFFで指針が上がったままメーターもOFFになる（指針を0点に戻す電源が無い為）。
- ・キーOFFで時計が止まります。

※メーターは距離計や各種設定を駆動中に保存する為、バッテリー電圧が無くてもこれらは正常に保存されます。また、電源に大きな問題が無い限り記録が勝手に消える事ありません。

スティック温度センサーのご使用には別売のアダプターが必要です。

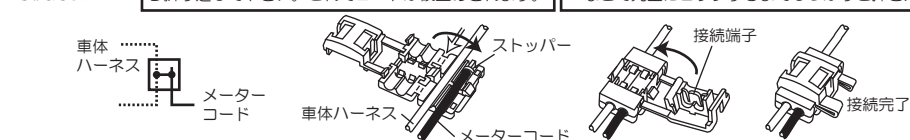
ドレンボルトアダプターA1：M12P1.5
07-04-054

スティックセンサー差し込み口

内径8mmオイルクーラーホースアダプター
07-04-0521

本製品、付属のスティックセンサー
内径φ8mmホース

エレクトロタップの使用法



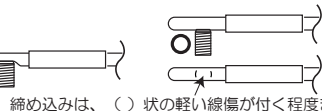
⚠ 注意

止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。

- ・脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。



ネジロック剤
止めネジM3X5



締め込みは、（ ）状の軽い線傷が付く程度まで
次に接続端子がついている方を折り返してください。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

12Vモンキー P3

ミニレギュレーターの接続方法は次項に記載しています。
★マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意ください。

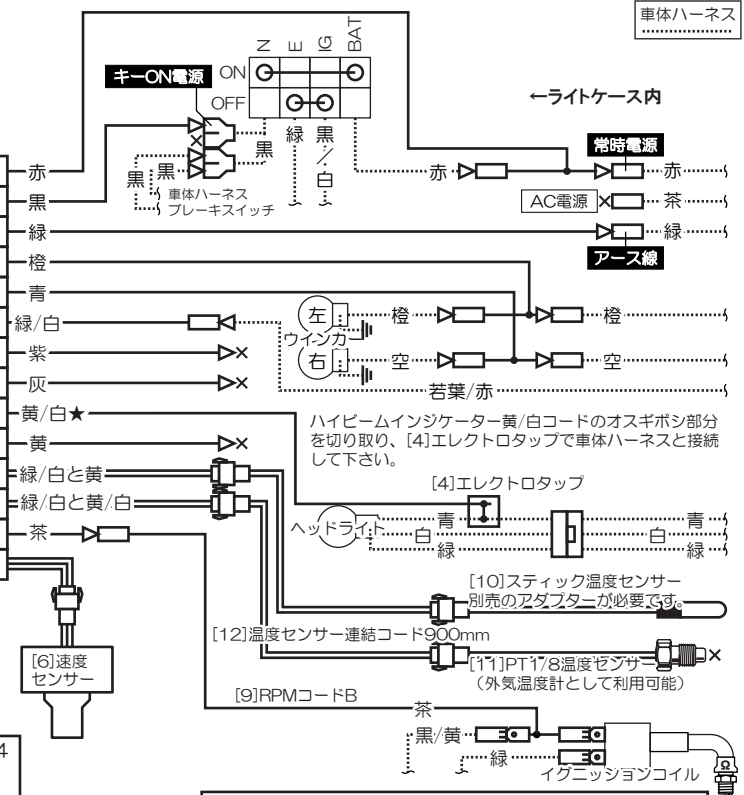
スーパーマルチDNメーター

常時電源入力（DC12V）	赤
キーON電源入力（DC12V）	黒
メインアース（GND）	緑
左ウインカーインジケータ（プラス）	橙
右ウインカーインジケータ（プラス）	青
ニュートラルランプ（GND）	緑/白
WARNING A（プラス/GND）	紫
WARNING B（プラス/GND）	灰
ハイビームインジケータ（プラス）	黄/白★
ガソリン計入力（抵抗値）	黄
温度センサーA入力	緑/白と黄
温度センサーB入力	緑/白と黄/白
RPM信号入力	茶
速度センサー入力	黒

赤	Red	紫	Purple
黒	Black	灰	Gray
緑	Green	黄	Yellow
橙	Orange	茶	Brown
青	Blue	空	Light Blue
白	White	若葉	Light Green

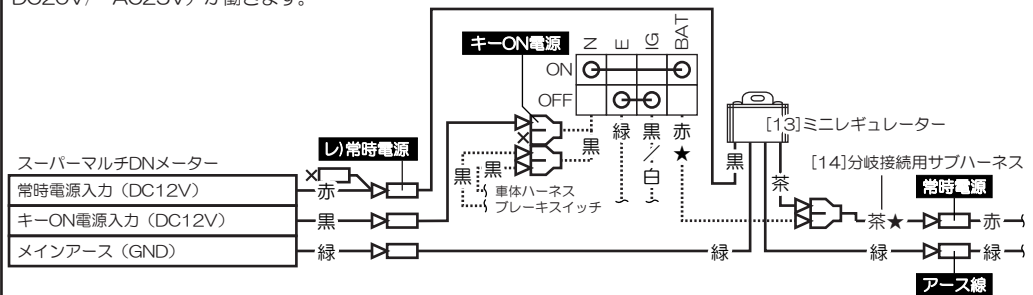
3-3 速度信号長さ設定：0714
3-3 速度信号回数設定：04P
2-3 RPM信号接続設定：IG
2-4 RPM信号回数設定：1
2-5 RPM信号種類設定：Hi
メーター本体取扱説明書

⑥-4 ADJモード



プラグはレジスタータイプを使用してください（イリジウム可）。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。ノイズが表示の乱れや故障の原因となってしまう可能性があります。

ミニレギュレーターをヘッドライトケースに入れる事は可能ですが、無理に押し込むとライトケースやコード類を損傷させてしまう可能性があります。まずミニレギュレーターの設置場所を考察し、メーカー発行のサービスマニュアルの配線図と照らし合わせながら必要となる配線の延長加工等を行って下さい。ミニレギュレーター（耐電圧：～DC/AC40V）を使用しない場合でも、メーター本体内蔵の保護回路（耐電圧：～DC20V/～AC25V）が働きます。

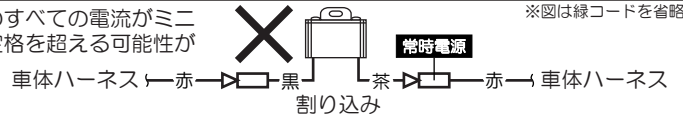


次ページに続く

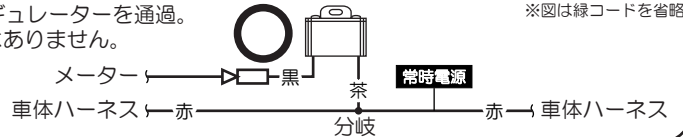
警告

ミニレギュレーターの茶コードと黒コードを車体ハーネス間に割り込ませると、定格（12V1A）オーバーによりミニレギュレーターが破損する可能性があります。

車体の消費するバッテリーからのすべての電流がミニレギュレーターを通過する為、定格を超える可能性があります。



メーター用の電流だけがミニレギュレーターを通過。
定格である12V1Aを超える事はありません。



⑥ 参考情報（M2ステータス）

モンキーFIへの利用に関する参考情報

メーター本体はモンキーFでも作動適可能で、M2ステーを使用し本体を固定する事も可能です。ただし、ボルトオン設計ではありませんので、配線加工や一部部品を自作して頂く必要があります。

- ・ モンキー-FIの車体側ハーネスはすべてカプラー接続です。本製品のメーターメイン配線はすべて丸金ボシであり、接続には車体側もしくはメーター側どちらかの配線を加工するか、変換コードを自作する必要があります。
- ・ ヒューズリリムーバブルセンサーの構造により燃料残量警告灯は12V3.4Wの電球を使う必要がある為、メーター内蔵のLEDインジケーターに置き換える事が出来ません。
- ・ また、ライトケース交換により燃料残量警告灯用のステーが無くなりますので、新たなステーを自作するかタイラップ等をうまくして固定して下さい。
- ・ マイナス電圧点灯方式ヘッドライトの為、メーター内蔵のハイビームインジケーターランプを利用出来ません。

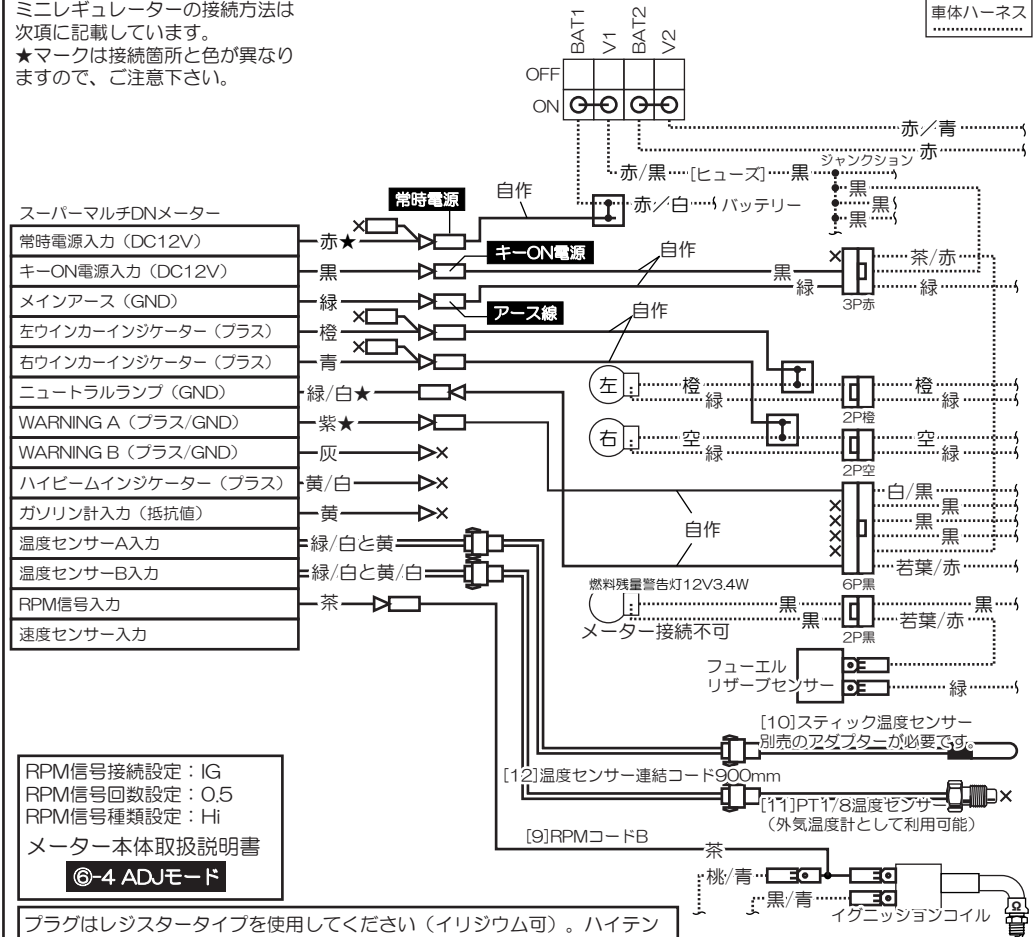
純正のPGM-FI警告灯を本製品内蔵のWARNINGインジケータランプに置き換える事が出来ます。以下の内容をご確認の上、作動確認を行って下さい。

起動時に純正のPGM-FI警告灯はECU（エンジンコントロールユニット）の指示により数秒間点灯しますが、本製品のWARNINGインジケータランプはメーター内部の指示により点灯します。

- WARNINGインジケータランプの配線が適切に出来ているかどうかを確認する方法
- ・キーONでメーターの電源を入れ、ウォーミングアップ動作終了を待て下さい。
 - ・キーを一瞬だけOFFにし、再びONにします。そうするとメーターは稼働状態を保ち（ウォーミングアップ動作しない）、ECUの指示によりWARNINGインジケータランプが点灯します。

モンキーFI（参考情報）

ミニレギュレーターの接続方法は次項に記載しています。
★マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意下さい。



プラグはレジスタタイプを使用してください（イリジウム可）。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。ノイズが表示の乱れや故障の原因となってしまう可能性があります。

ヘッドライトケース内にミニレギュレーターを入れる事は可能ですが、無理に押し込むとライトケースやコード類を損傷させてしまう可能性があります。まずミニレギュレーターの設置場所を考察し、メーカー発行のサービスマニュアルと照らし合わせながら必要な配線の延長加工等を行って下さい。

ミニレギュレーター（耐電圧：～DC/AC40V）を使用しない場合でも、メーター本体内蔵の保護回路（耐電圧：～DC20V/～AC25V）が働きます。

モンキーFはキャブレター車よりも電源電圧の重大な問題が起こりにくい（エンジンが停止する）車両です。

